

アジアの未来を拓くファイナンシャル・グループ

日本、韓国、東南アジア、そしてアジア全域へ。

Jトラストは、総合金融サービスを通じて新たな価値を創造し、アジアの経済発展に貢献していきます。

企業理念・行動理念

企業理念

お客様のため、株主様のため、私たち自身のため、
いかなるときも迅速に、誠実にチャレンジし続け、
皆様とともに世界の未来を創造します。

Jトラストは、上記の「企業理念」の実現に向けて、以下のことを推進してまいります。

1. お客様、株主の皆様、お取引先等、全てのステークホルダーをお客様と考え、その期待に応えるため、「お客様第一」の行動を実行してまいります。
2. 様々な事象に対し「迅速」に対応するとともに、現状に満足することなく「創意工夫・改善」を実行してまいります。
3. 「適時且つ正確な情報開示」を実行するとともに、業務執行にあたっては「高い倫理観」を持って取り組んでまいります。
4. 「新たなサービスや価値観を創造・提供」し、経済の発展に貢献してまいります。

行動理念

行動理念は、Jトラストの英文字の6つで構成されています。

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 『J』 = 「Justice」 | 公正な企業経営を行います。 |
| 『T』 = 「Teamwork」 | 経営の根幹である「人」の個性を活かした組織を作ります。 |
| 『R』 = 「Revolution」 | 常に革新志向で価値創造を行います。 |
| 『U』 = 「Uniqueness」 | 当社の独自性を大切にします。 |
| 『S』 = 「Safety」 | お客様、ステークホルダーの皆様に安心いただけるよう努めます。 |
| 『T』 = 「Thankfulness」 | 感謝の気持ちを忘れません。 |

CONTENTS

Jトラストグループ成長の軌跡	2
At a Glance	4
Jトラストグループのビジネスモデル	6
ステークホルダーの皆様へ	8
特集: インドネシア金融事業の持続的な成長に向けて ～BJIとJTOのジョイントファイナンスによる貸付残高拡大へ～	16
日本金融事業	20
韓国及びモンゴル金融事業	22
東南アジア金融事業	24
非金融事業	26
サステナビリティ・ハイライト	27
10年間の連結財務ハイライト	40
連結財務諸表	42
主要子会社の財政状態計算書	46
主要子会社の損益計算書	48
会社情報	50
投資家情報	51

将来の見通しに関する注記事項

当アニュアルレポートの記述には、Jトラストグループの将来の業績等に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいており、潜在リスクや不確実性が含まれています。実際の業績等は、経済の動向、当社を取り巻く環境等様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

Jトラストグループ成長の軌跡

積極的なM&Aの推進によりアジアにおける総合金融事業を拡大

Jトラストグループは、日本で培った審査力・回収力やマーケティング力などのオペレーションノウハウを海外展開するとともに、その国の良い所と融合することで、アジア各地における事業領域を拡大してきました。

ノンバンク

MONGOLIA モンゴル

モンゴル金融市場の成長を事業機会と捉え、2018年に参入。

ノンバンク

サービス

クレジットカード

JAPAN 日本

創業以来40年間培った審査力・回収力・マーケティング力を強みに、安定した収益基盤を構築。

銀行

ノンバンク

サービス

SOUTH KOREA 韓国

日本で培った強みを活かし、金融市場が日本に類似している韓国市場に2011年に参入し、銀行、サービス、リース・割賦の三位一体の総合金融事業を確立。

銀行

CAMBODIA カンボジア

経済成長著しいカンボジアにおいて、2019年より銀行業務に参入。

投資拠点

SINGAPORE シンガポール

東南アジアでの事業展開の推進を目指し、2013年にシンガポールに拠点を設立。

銀行

ノンバンク

サービス

INDONESIA インドネシア

ASEAN最大の人口を持つインドネシアを潜在成長力の高い市場と捉え、2014年に参入。銀行、債権買取回収、マルチファイナンスの三位一体の事業基盤を確立。



日本
金融事業を開始

Jトラストグループ 総資産の推移

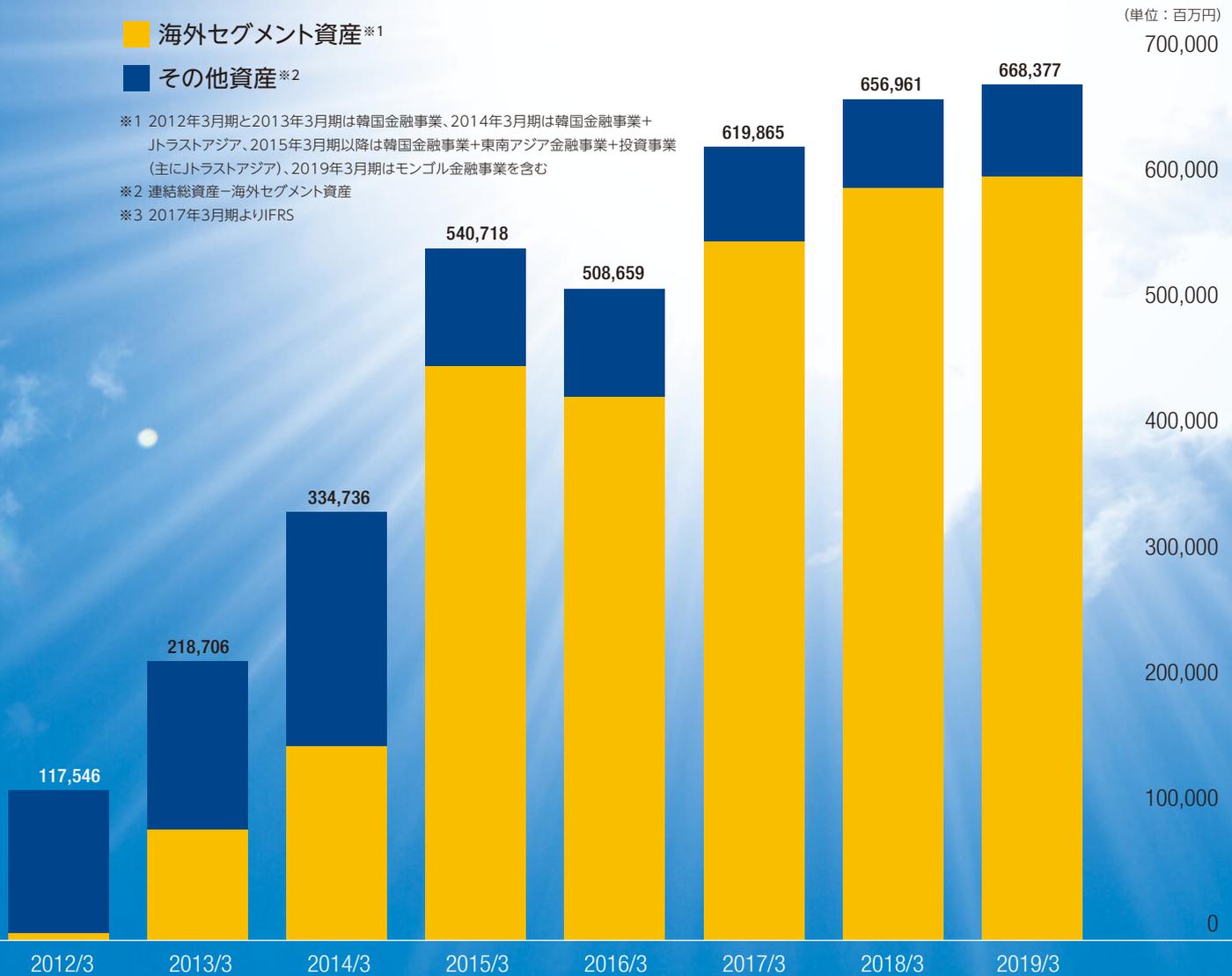
■ 海外セグメント資産^{※1}

■ その他資産^{※2}

※1 2012年3月期と2013年3月期は韓国金融事業、2014年3月期は韓国金融事業+ Jトラストアジア、2015年3月期以降は韓国金融事業+東南アジア金融事業+投資事業 (主にJトラストアジア)、2019年3月期はモンゴル金融事業を含む

※2 連結総資産-海外セグメント資産

※3 2017年3月期よりIFRS



韓国

2011年4月
金融事業会社
ネオラインクレ
ジット取得

韓国

2012年10月
現JT親愛貯蓄銀行
が営業開始

韓国

2014年3月
現TA資産管理
を取得

韓国

2015年1月および3月
現JT貯蓄銀行および
現JTキャピタルを取得

モンゴル

2018年5月
ファイナンス事業会社
現JトラストクレジットNBF取得

シンガポール

2013年10月
Jトラストアジア
設立

インドネシア

2014年11月
現Jトラスト銀行
インドネシア取得

インドネシア

2015年6月
サービサー Jトラスト
インベストメンツ
インドネシア設立

インドネシア

2018年10月
マルチファイナンス会社
現Jトラストオリンピンドマルチ
ファイナンス取得

カンボジア

2019年8月
現Jトラストロイヤル銀行
取得

At a Glance

日本金融事業



営業収益 **107** 億円

事業内容

- 信用保証業務
- 債権回収業務
- クレジット・信販業務
- その他の金融業務

主な子会社

- 日本保証
- パルティール債権回収
- Jトラストカード

韓国及びモンゴル金融事業



営業収益 **396** 億円

事業内容

- 貯蓄銀行業務
- 債権回収業務
- キャピタル業務(リース・割賦業務)
- 金融業務

主な子会社

- JT親愛貯蓄銀行
- JT貯蓄銀行
- TA資産管理
- JTキャピタル
- JトラストクレジットNBFi

東南アジア金融事業



営業収益 **130** 億円

事業内容

- 銀行業務
- 債権回収業務
- マルチファイナンス業務

主な子会社

- Jトラスト銀行インドネシア
- Jトラストインベストメントインドネシア
- Jトラストオリンピンドマルチファイナンス
- Jトラストロイヤル銀行*

総合エンターテインメント事業



営業収益 **15** 億円

事業内容

- ライブ・エンターテインメント
- テレビ番組等の映像制作
- エンターテインメントコンテンツの企画・開発
- 芸能プロダクション

主な子会社*

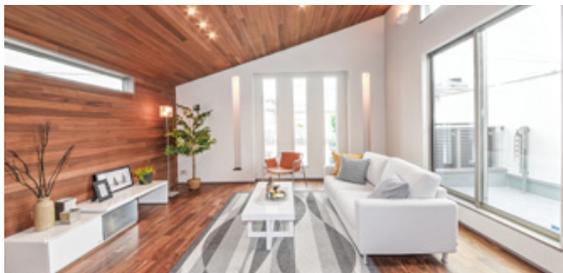
- KeyHolder
- allfuz
- ゼスト
- FA Project
- UNITED PRODUCTIONS

※2019年8月19日時点

※2019年8月1日時点の商号

©2019 Zest, Inc.

不動産事業



営業収益 **64**億円

事業内容

- 不動産売買・不動産仲介業務
- 収益物件の仕入れおよび販売業務

主な子会社

- キーノート
- KeyHolder

投資事業



営業収益 **12**億円

事業内容

- 投資・経営支援業務

主な子会社

- Jトラストアジア

その他の事業



営業収益 **32**億円

事業内容

- システム事業
- 商業施設建築事業

主な子会社

- Jトラストシステム
- キーノート

セグメント別の従業員の状況

日本金融事業	229人
韓国及びモンゴル金融事業	986人
東南アジア金融事業	1,868人
総合エンターテインメント事業	62人
不動産事業	54人
投資事業	5人
その他の事業	57人
全社(共通)	63人
合計	3,324人

Jトラストグループのビジネスモデル

Jトラストグループは、銀行・ノンバンク・サービサーの三位一体のビジネスを推進することにより、景気の変動に左右されにくい収益モデルを構築しています。

ノンバンク事業

各種ローンやローン保証、クレジットサービスなどお客様の多様なニーズに合った付加価値の高い金融サービスを提供しています。



日本保証



Jトラストカード



JT キャピタル (韓国)



J TRUST OLYMPINDO
Multi Finance (インドネシア)



J TRUST CREDIT
NBFI (モンゴル)

非金融事業

総合エンターテインメント、不動産サービスの領域で、グループシナジーを活かした事業展開を推進します。

投資事業

アジアにおける事業機会を着実にとらえます。



J TRUST ASIA

(シンガポール)

持続的成長を支える強み

審査力／回収力

独自の審査／回収ノウハウで国内の債権回収のIRRは40%（4年以上経過）と高い回収率を維持。韓国の銀行の延滞率^{*}は4.0%。

※90日以上延滞債権の割合

運用力／開発力

市場から求められる付加価値の高い商品・サービスを提供することで、持続的な成長を維持。

ブランド力／信用力

高いブランド力・信用力を背景に、社会の発展に貢献する新たなサービスの創出に挑戦。

銀行業

地域の皆様や中小企業の多様な資金ニーズに応えることで、現地の経済発展に貢献します。

-  JT 親愛貯蓄銀行 (韓国)
-  JT 貯蓄銀行 (韓国)
-  J TRUST BANK (インドネシア)
-  J Trust Royal Bank (カンボジア)

サービサー事業

長年日本で培った債権回収ノウハウを活かし、韓国・インドネシアでもサービサー事業で高いプレゼンスを維持しています。

PARTIR

TAAsset (韓国)
TA Asset Management

 J TRUST INVESTMENTS
Indonesia